

## 事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 26 日

事業所名 札幌東苗穂校第 2

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		法令を厳守したスペースを確保しております。	
	②	職員の配置数は適切である	4		法令で定められている配置数を厳守しております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		わかりやすく明示するよう心掛けております。玄関以外の療育室内はバリアフリー化されております。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎朝の清掃・更に定期的に消毒を行っております。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1	週、月毎に MTG を実施。目標設定を再実施を行っております。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		保護者等向け評価表の記入のご協力頂き保護者様の意向を把握し、業務の改善につなげております。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	事業所内のホームページで公開し、随時更新しております。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	利用者様・事業所内での評価を行っています。第三者による外部評価の実施は、現在行っていません。	今後、第三者による外部評価の導入を検討して参ります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		初任者研修年 1 回実施。2 か月に 1 度社内研修を実施しております。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		適宜、保護者様と情報を共有し、職員間で周知し、子どものニーズに沿った児童発達支援計画を作成しております。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		NC プログラム・SDQ 等のアセスメントツールを社内で統一して使用しております。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	1	適宜、保護者様と子どもの情報を共有し、職員間で周知した上で、子どものニーズに沿った児童発達支援計画を作成して参ります。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		支援前には、支援計画に目を通し支援を行って参ります。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		適宜 モニタリング会議・MTGを実施し、子どものニーズに合わせて必要な支援を選択 具体的な活動プログラムを立案・実施しております。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		月毎に、イベントを行い子どもの子どもの楽しみを作るよう配慮しております。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4		個別療育にて児童発達支援計画を作成しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	毎朝の朝礼を実施し、支援の方法役割分担を確認しております。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		毎日終礼を行い、支援の振り返り、気づいた点等を共有しております。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		支援ごとに記録を取り、お子さんに合わせて指導方法を検討しております。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		6か月ごとのモニタリングを行い、必ず見直しを行っております。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		担当指導員・児童発達支援管理責任者が参画して参ります。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		4	保育所・幼稚園との連携し支援を行って参ります。	今後は各機関との連携に努めて参ります。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		4	現在、該当児童がおりませんが、今後 該当児童が利用される場合は、各所と密に連携致します。	現在、該当児童がおりません。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		4	現在、該当児童がおりませんが、今後 該当児童が利用される場合は、各所と密に連携致します。。	現在、該当児童がおりません。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		保育所・幼稚園と、適宜連携し情報の共有を図っております。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		4	現在は連携が強くありませんが、今後は小学校と適宜連携し、支援内容の情報共有を図って参ります。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		多くの外部専門家に招き、研修を行って参ります。	

連携	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	2	今後イベント等を通して交流できるよう努めて参ります。	現在は時間的に交流が難しいため行っておりません。
----	---	---	---	---	----------------------------	--------------------------

		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2	指導員・児発管と参加できるよう努めてゆきます。	多くの会議に参加できるよう努めて参ります。						
							⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		保護者面談等で、子どもたちの発達状況・課題について共通理解を図って参ります。	
㉒	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に、運営規定の説明を保護者様に行っております。								
						㉓	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		6か月ごとに児童発達支援計画を示しながら、保護者様に説明し同意を得ております。		
												㉔
㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		年間に1度程度開催を予定しております。								
						㉖	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		事業所内に相談窓口・行政機関窓口を掲示しております。頂いた苦情に関しては、迅速に対応しております。		
												㉗
㉘	個人情報の取扱いに十分注意している	4		個人情報のファイル等は、施錠し厳重に管理しております。								
						㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		必要に応じて対応しております。		
												㉚
㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		各種マニュアルを策定し、職員や保護者様に周知を図っております。								
						㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		防災会議を月一度、避難訓練を年1度行い、通信で保護者様に周知しております。		
												㉝

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	こどものアレルギーの有無を確認しており、職員間で周知しております。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	ヒヤリ・ハット報告書を作成し、保管、職員間で共有改善に努めております。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		マニュアルに従い事業所内研修を行っております。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		保護者様へ十分な説明を行ったうえで、児童発達支援計画の特記事項に記載致します。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 26 日

事業所名 札幌東苗穂校第2

保護者等数（児童数）7

回収数 5

割合 86 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6				まだ利用回数が少なく、分からない事が多い。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5			1	同上	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5			1	同上	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5			1	同上	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5			1	同上	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			1	同上	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5			1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8			1	同上	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	1	1	同上	近隣施設とのかかわりを持てるようにしてゆきたいと考えております。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	2			同上	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2	2		2	同上	全てにご納得いただけるよう更に丁寧かつ詳細な説明を心がけます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	2		1	同上	家族支援プログラムの導入を検討しております。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	1		1	同上	連絡帳・電話でも必ず連絡を取り合います。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	2		1	同上	面談以外にも相談を受ける機会を持ち、情報共有を行います。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2		1	同上	年1度、保護者様を交えて茶話会等を開催するよう努めます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	2		1	同上	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	1		1	同上	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	1		1	同上	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5	1			同上	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3			3	同上	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1		3	同上	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6				同上	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	5			1	同上	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。